



平成27年7月8日

各位

上場会社名 株式会社 フェリシモ
 代表者 代表取締役社長 矢崎 和彦
 (コード番号 3396)
 問合せ先責任者 経営管理部長 村上 紀子
 (TEL 078-325-5555)

特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

下記の修正の理由に記載いたしましたとおり、特別利益を計上すること及び最近の業績動向を踏まえ、平成27年4月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	17,972	△56	71	66	6.78
今回修正予想(B)	17,334	△160	17	148	15.03
増減額(B-A)	△638	△103	△53	81	
増減率(%)	△3.6	—	△74.9	121.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年2月期第2四半期)	18,331	△234	△150	△201	△20.41

平成28年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	37,036	61	216	207	21.04
今回修正予想(B)	36,250	68	272	627	63.63
増減額(B-A)	△785	6	56	420	
増減率(%)	△2.1	10.3	26.0	202.4	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	37,703	△631	△383	△1,921	△194.82

修正の理由

1.平成28年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

平成28年2月期第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、第1四半期連結会計期間の業績及び現在進行中の受注の状況から17,334百万円と前回発表予想を638百万円下回る見通しであります。これは主に顧客の購入単価が、当初見通しを下回ったことによるものです。

利益につきましては、広告費の効率的投入による削減やその他の販売費及び一般管理費でもコスト削減を実施する効果を見込んでおりますが、売上高の減少による売上総利益の減少の影響が大きく、営業損失は160百万円と前回発表予想よりも拡大する見通しであります。営業外収益として為替差益の発生があったものの経常利益は17百万円と前回発表予想を53百万円下回る見通しであります。四半期純利益については148百万円と前回発表予想を81百万円上回る見通しであります。これは、当社が所有しておりました美術品等の売却益を特別利益として計上したことによるものです。

2.平成28年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

下半期につきましては、当社が兵庫県より受託した、子育て支援事業「兵庫県版ギフトカタログ」による売上げ増加や、顧客の購入単価増加のためのキャンペーン等の追加施策を強化しておりますが、現時点での予想では平成28年2月期通期の連結売上高は、36,250百万円と前回発表予想を785百万円下回る見込みであります。

利益につきましては、広告費をはじめ販売費及び一般管理費の一層の削減に取り組むことで、営業利益は68百万円と前回発表予想を6百万円上回り、経常利益は、272百万円と前回発表予想を56百万円上回る見通しであります。当期純利益につきましては、平成27年5月15日に開示いたしました「連結子会社の固定資産の譲渡に関するお知らせ」に関連して、現在清算手続きを進めております当社の100%出資子会社上海芬理希夢時裝有限公司が所有しておりました不動産の売却益239百万円を特別利益として見込んだことで、627百万円と前回発表予想を420百万円上回る見通しであります。

※上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以上